

2026年7月2日

## 「茨城県内主要企業の経営動向調査結果（2026年4～6月期速報）」について

常陽銀行（頭取 秋野 哲也）の子会社である常陽産業研究所（代表取締役社長 大森 範久）は、このたび、「茨城県内主要企業の経営動向調査結果（2026年4～6月期速報）」を取りまとめましたので、その結果を下記のとおりお知らせいたします。

当社は、地域のシンクタンクとして各種調査研究および総合金融サービスの提供を通じ、今後とも、地域の課題解決に向けたさまざまな情報発信や取り組みを展開し、地域の成長と活性化に貢献してまいります。

### 記

#### 1. 調査結果

茨城県内企業における全産業ベースの自社業況総合判断DIは、中東情勢の緊迫化を背景に、「悪化」超23.5%と、前期（2026年1～3月期）調査の同12.4%から11.1ポイント（以下、pt）低下しました。業種別にみると、製造業は「悪化」超21.2%と、前期（同7.7%）から13.5pt低下、非製造業は「悪化」超25.2%と前期（同15.9%）から9.3pt低下となりました。また、個別項目をみると、製造業は生産DIや受注DI、非製造業は売上（出荷）DIが「減少」に転じています。

先行き（2026年7～9月期）は、全産業で「悪化」超28.7%と、今期から5.2pt低下の見込みとなっています。なお、調査結果の詳細は別紙を参照してください。

#### 2. 調査の特徴

本調査は、1970年以降50年以上にわたり、四半期ごとの定期調査として実施しているものです。従業員300人以上の大企業から30人未満の企業まで、茨城県内企業を幅広く調査対象としています。今回の調査期間は2026年6月1日～18日、有効回答数は229社（製造業100社、非製造業129社）でした。

以上

本件に対するご照会は、下記までお願いいたします  
常陽産業研究所 地域研究センター（中橋・荒澤） 029-233-6735

## 【茨城県内主要企業の経営動向調査結果（2026年4～6月期速報）】

### 2026年4～6月期の県内企業の景況感は、全産業で11.1pt低下 —中東情勢の緊迫化の影響で、製造業・非製造業ともに景況感が悪化—

#### 今回調査の概要

#### 自社業況総合判断DIは、製造業で13.5pt、非製造業で9.3ptの低下

茨城県内企業の景況感を示す自社業況総合判断DI<sup>\*</sup>は、全産業で「悪化」超23.5%と、前期(2026年1～3月期)調査の同12.4%から11.1pt低下した(図表1)。DI算出に用いる回答の内訳は、「悪化」と回答する企業が増加し、「好転」と回答した企業は減少した(図表2)。

業種別にみると、製造業は「悪化」超21.2%と、前期(同7.7%)から13.5pt低下した(図表3-1)。半導体関連企業を含む素材業種が5.7pt上昇したものの「悪化」超に留まり、加工業種と食料品を含む「その他業種」が低下したことで「悪化」幅が拡大した。非製造業は「悪化」超25.2%と前期(同15.9%)から9.3pt低下した(図表3-2)。建設が3.9pt上昇したものの、運輸・倉庫は43.3pt低下、卸売、小売、その他業種も低下した。

#### 製造業では生産DI・受注DIが、非製造業では売上(出荷)DIが「減少」超に転じる

製造業では、生産DIが「減少」超3.0%と前期(「増加」超5.4%)から8.4pt低下、受注DIが「減少」超7.1%と前期(「増加」超6.7%)から13.8pt低下となった。企業からは「ナフサ由来製品の価格が30%以上上がっている。製品価格上昇により、需要が減退する恐れがある」(化学)、「原材料、電気代、燃料代の高騰に販売価格改定が追いついていない中、価格上昇で受注が減少」(食料品)など、中東情勢の緊迫化による原材料価格の高騰が必要や受注の減退を招いているとの声が聞かれた。

非製造業では、売上(出荷)DIが「減少」超0.8%と、前期(「増加」超15.2%)から16.0pt低下した。企業からは、「仕入価格の上昇及び物流の停滞が顕著になった」(建設業)、「ナフサ不足の影響で納期未定になっている資材があり、工事の工程に影響を及ぼしている」(建設業)など物流の停滞や資材の調達難を要因として業務が滞っているという声が聞かれた。

全産業で仕入価格DIは「上昇」超73.8%と前期(同58.3%)から15.5pt上昇した。一方、販売価格DIは「上昇」超43.2%と前期(同33.5%)から9.7ptの上昇にとどまった。仕入価格が急速なペースで上昇しているのに対し、販売価格への転嫁は緩やかな伸びにとどまっており、企業の価格転嫁は仕入価格の上昇に追いついていない。

#### 先行きは中東情勢の緊迫化をはじめとする海外経済や物価、賃上げの動向に注目

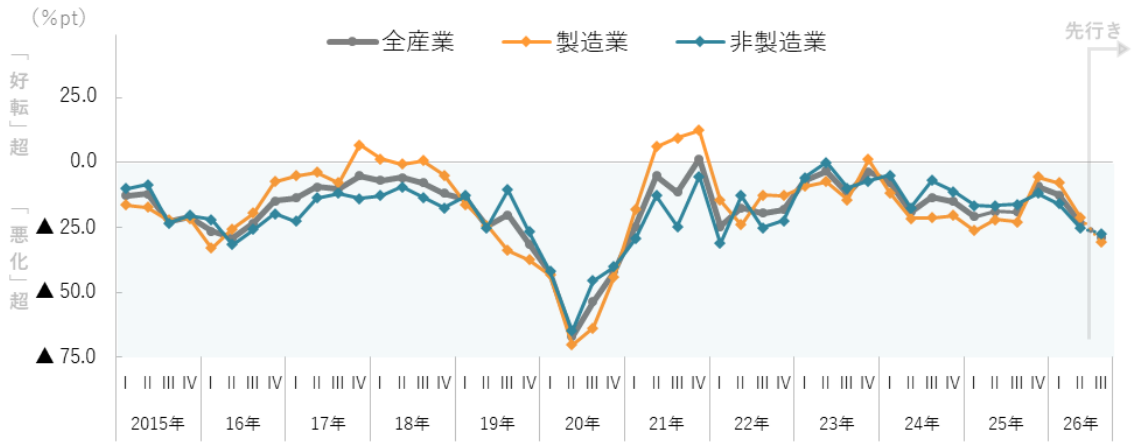
次期(2026年7～9月期)の自社業況総合判断DIは、全産業で「悪化」超28.7%と今期から5.2pt低下、製造業が同30.6%と9.4pt低下、非製造業が同27.4%とおおむね横ばいの見込みとなっている(図表1)。

企業からは「塗料などの調達難が続く」(電気機械製造)など、先行きについて不安を感じる企業が多く見られた。また、「潤滑油や冷却油が購入できず、取引先から融通を受けて生産を続けている」(はん用機械製造業)、「先行きが不透明であり、価格転嫁の検討が必要になる」(宿泊・飲食)など、調達先の調整や価格転嫁を検討している声が聞かれた。

これらを踏まえ、先行きの県内経済は、原油・石油製品の供給やエネルギー価格の動向、さらに物価高や金利上昇、為替市場の動向などが企業や家計に及ぼす影響に注視する必要があるだろう。

※「好転」回答企業割合 - 「悪化」回答企業割合

図表1 自社業況総合判断DIの推移

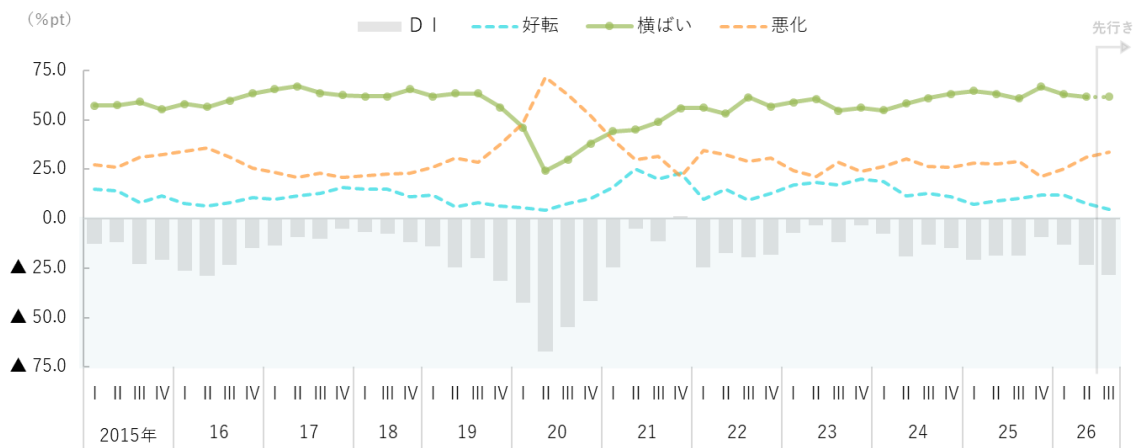


(前年同期比・%pt)

業種	2025年				2026年			
	1~3月期	4~9月期	7~9月期	10-12月期	1-3月期	4-6月期	前回調査 時点の予測	7-9月期 予測
全産業	▲ 20.7	▲ 18.7	▲ 18.9	▲ 9.2	▲ 12.4	▲ 23.5	▲ 18.9	▲ 28.7
製造業	▲ 26.2	▲ 21.8	▲ 22.8	▲ 5.6	▲ 7.7	▲ 21.2	▲ 13.3	▲ 30.6
非製造業	▲ 16.5	▲ 16.6	▲ 16.0	▲ 11.8	▲ 15.9	▲ 25.2	▲ 23.3	▲ 27.4

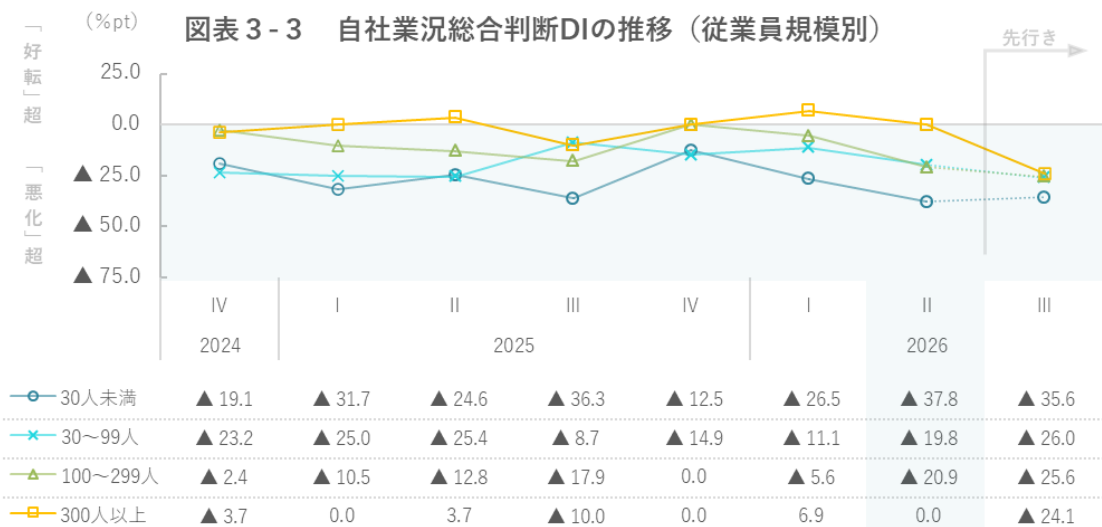
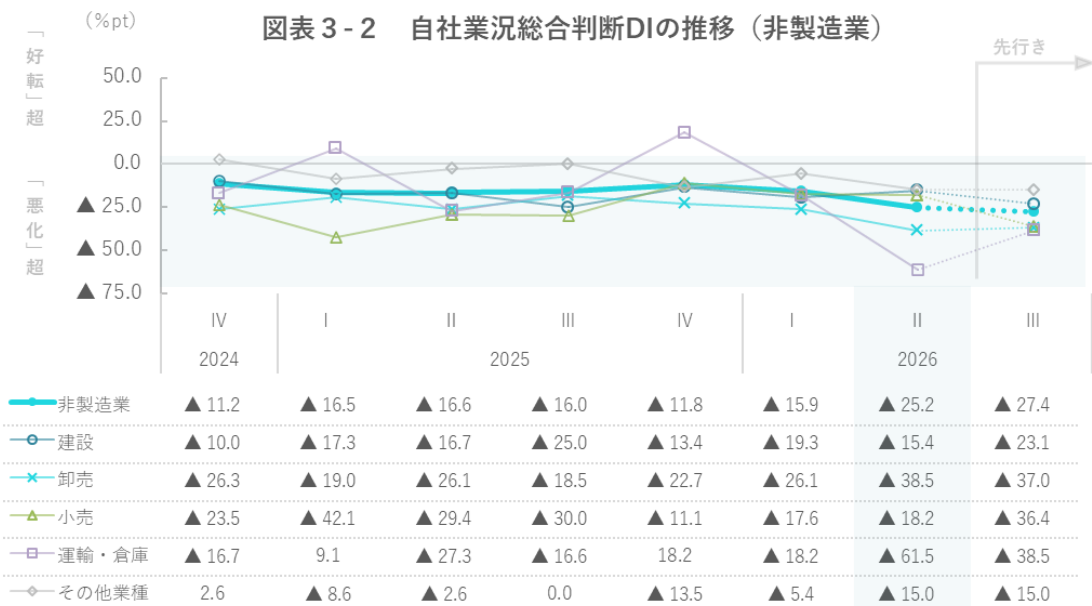
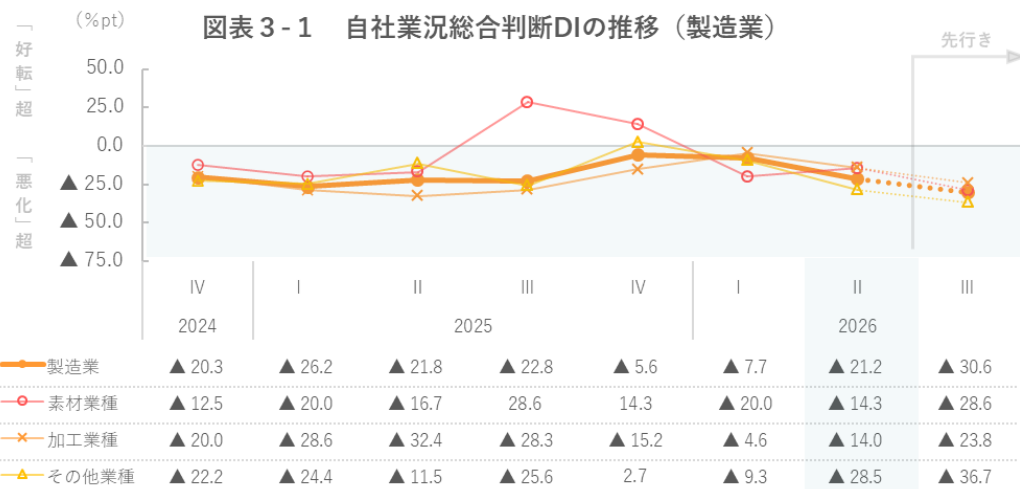
※自社業況総合判断DI：「好転」回答企業割合 - 「悪化」回答企業割合

図表2 自社業況総合判断DIの推移（全産業）



(前年同期比・%pt)

	2024年	2025年				2026		
	10~12月期	1~3月期	4~6月期	7~9月期	10~12月期	1~3月期	4~6月期	7~9月期 予測
好転	11.0	7.4	9.1	10.1	12.1	11.9	7.5	4.9
横ばい	63.0	64.5	63.1	60.8	66.7	63.8	61.5	61.5
悪化	26.0	28.1	27.8	29.0	21.3	24.3	31.0	33.6
DI	▲ 15.0	▲ 20.7	▲ 18.7	▲ 18.9	▲ 9.2	▲ 12.4	▲ 23.5	▲ 28.7



図表4 自社業況総合判断以外の主なDIの推移

(前年同期比、前期比・%pt)

項目	業種	2025年				2026年		
		1~3月期	4~6月期	7~9月期	10~12月期	1~3月期	4~6月期	7~9月期 予測
国内景気判断DI (「好転」 - 「悪化」)	全産業	▲ 21.5	▲ 26.3	▲ 20.6	▲ 11.1	▲ 14.8	▲ 29.1	▲ 37.2
	製造業	▲ 18.2	▲ 28.6	▲ 22.8	▲ 12.4	▲ 15.4	▲ 27.6	▲ 39.2
	非製造業	▲ 23.9	▲ 24.8	▲ 19.0	▲ 10.1	▲ 14.2	▲ 30.2	▲ 35.7
生産DI (「増加」 - 「減少」)	製造業	▲ 9.1	▲ 10.2	▲ 8.8	▲ 2.2	5.4	▲ 3.0	▲ 18.2
受注DI (「増加」 - 「減少」)	製造業	▲ 14.9	▲ 13.0	▲ 7.7	0.0	6.7	▲ 7.1	▲ 20.6
売上(出荷)DI (「増加」 - 「減少」)	全産業	▲ 4.5	▲ 7.8	▲ 8.5	▲ 6.0	10.8	0.9	▲ 10.0
	製造業	▲ 3.4	▲ 2.6	▲ 2.2	▲ 1.1	5.5	3.1	▲ 15.5
	非製造業	▲ 5.4	▲ 11.3	▲ 13.3	▲ 9.9	15.2	▲ 0.8	▲ 5.7
仕入価格DI (「上昇」 - 「低下」)	全産業	62.8	55.5	56.6	56.2	58.3	73.8	67.4
	製造業	63.2	63.2	63.3	55.2	64.8	79.6	73.2
	非製造業	62.5	50.5	51.6	57.0	53.1	69.4	62.9
販売価格DI (「上昇」 - 「低下」)	全産業	36.1	33.9	36.5	27.8	33.5	43.2	43.8
	製造業	32.2	35.1	38.9	28.4	31.9	41.9	41.7
	非製造業	39.1	33.0	34.7	27.5	34.8	44.4	45.5
経常利益DI (「増加」 - 「減少」)	全産業	▲ 22.2	▲ 21.2	▲ 14.1	▲ 11.8	1.9	▲ 9.8	▲ 19.9
	製造業	▲ 19.5	▲ 23.4	▲ 5.7	▲ 14.8	3.3	▲ 5.2	▲ 23.4
	非製造業	▲ 24.2	▲ 19.9	▲ 20.3	▲ 9.4	0.8	▲ 13.4	▲ 17.3

※DIは前年同期比、ただし仕入価格・販売価格は前期比

以上

茨城県内主要企業の経営動向調査結果(速報)

2026年7月2日  
株式会社 常陽産業研究所

項目	業種	2023				2024				2025				2026						概況		
		1~3	4~6	7~9	10~12	1~3	4~6	7~9	10~12	1~3	4~6	7~9	10~12	1~3	4~6	(前期比)	1~3 時点予想	(予想比)	7~9 予想		(今期比)	
国内景気	国内景気判断DI (「好転」-「悪化」)	全産業	▲ 9.7	10.7	2.8	1.5	8.7	▲ 9.3	▲ 15.1	▲ 9.5	▲ 21.5	▲ 26.3	▲ 20.6	▲ 11.1	▲ 14.8	▲ 29.1	(▲14.3)	▲ 24.6	(▲4.5)	▲ 37.2	(▲8.1)	製造業は前期比12ポイント低下し、非製造業は同16ポイント低下した。先行きは、製造業で12ポイント低下、非製造業で6ポイント低下する見通し。
		製造業	▲ 13.1	0.0	2.2	4.8	4.7	▲ 5.6	▲ 20.2	▲ 11.9	▲ 18.2	▲ 28.6	▲ 22.8	▲ 12.4	▲ 15.4	▲ 27.6	(▲12.2)	▲ 24.5	(▲3.1)	▲ 39.2	(▲11.6)	
		非製造業	▲ 7.2	19.0	3.2	▲ 0.9	11.5	▲ 12.1	▲ 11.1	▲ 7.8	▲ 23.9	▲ 24.8	▲ 19.0	▲ 10.1	▲ 14.2	▲ 30.2	(▲16.0)	▲ 24.6	(▲5.6)	▲ 35.7	(▲5.5)	
業界景気	業界景気判断DI (「好転」-「悪化」)	全産業	▲ 10.6	▲ 6.9	▲ 14.0	▲ 5.5	▲ 9.2	▲ 17.3	▲ 20.6	▲ 20.0	▲ 26.5	▲ 30.3	▲ 23.9	▲ 19.5	▲ 18.0	▲ 27.6	(▲9.6)	▲ 21.1	(▲6.5)	▲ 35.3	(▲7.7)	製造業は前期比8ポイント低下し、非製造業は同11ポイント低下した。先行きは、製造業で16ポイント低下、非製造業で概ね横ばい(-)となる見通し。
		製造業	▲ 15.0	▲ 12.7	▲ 21.7	▲ 2.4	▲ 16.3	▲ 21.4	▲ 26.6	▲ 25.0	▲ 30.7	▲ 30.7	▲ 30.5	▲ 13.5	▲ 15.2	▲ 23.2	(▲8.0)	▲ 16.5	(▲6.7)	▲ 38.8	(▲15.6)	
		非製造業	▲ 7.1	▲ 2.4	▲ 8.2	▲ 7.9	▲ 4.1	▲ 14.1	▲ 15.6	▲ 16.3	▲ 23.3	▲ 30.0	▲ 19.0	▲ 24.1	▲ 20.2	▲ 31.0	(▲10.8)	▲ 24.6	(▲6.4)	▲ 32.6	(▲1.6)	
自社業況	自社業況総合判断DI (「好転」-「悪化」)	全産業	▲ 7.1	▲ 3.3	▲ 11.7	▲ 3.5	▲ 7.6	▲ 19.1	▲ 13.3	▲ 15.0	▲ 20.7	▲ 18.7	▲ 18.9	▲ 9.2	▲ 12.4	▲ 23.5	(▲11.1)	▲ 18.9	(▲4.6)	▲ 28.7	(▲5.2)	製造業は前期比14ポイント低下し、非製造業は同9ポイント低下した。先行きは、製造業で9ポイント低下、非製造業で概ね横ばい(-)となる見通し。
		製造業	▲ 9.0	▲ 7.4	▲ 14.3	1.2	▲ 11.6	▲ 21.4	▲ 21.2	▲ 20.3	▲ 26.2	▲ 21.8	▲ 22.8	▲ 5.6	▲ 7.7	▲ 21.2	(▲13.5)	▲ 13.3	(▲7.9)	▲ 30.6	(▲9.4)	
		非製造業	▲ 5.7	0.0	▲ 9.8	▲ 7.1	▲ 4.9	▲ 17.4	▲ 6.9	▲ 11.2	▲ 16.5	▲ 16.6	▲ 16.0	▲ 11.8	▲ 15.9	▲ 25.2	(▲9.3)	▲ 23.3	(▲1.9)	▲ 27.4	(▲2.2)	
売上(出荷)	売上(出荷)DI (「増加」-「減少」)	全産業	0.9	0.4	▲ 9.0	1.1	▲ 9.1	▲ 11.4	▲ 12.8	▲ 3.6	▲ 4.5	▲ 7.8	▲ 8.5	▲ 6.0	10.8	0.9	(▲9.9)	▲ 1.5	(2.4)	▲ 10.0	(▲10.9)	製造業は前期から概ね横ばい(-)、非製造業は同16ポイント低下した。先行きは、製造業で19ポイント低下、非製造業で5ポイント低下する見通し。
		製造業	▲ 7.3	1.1	▲ 11.0	7.1	▲ 13.0	▲ 13.6	▲ 21.7	▲ 10.8	▲ 3.4	▲ 2.6	▲ 2.2	▲ 1.1	5.5	3.1	(▲2.4)	2.2	(0.9)	▲ 15.5	(▲18.6)	
		非製造業	7.7	0.0	▲ 7.6	▲ 3.7	▲ 6.3	▲ 9.5	▲ 5.4	1.8	▲ 5.4	▲ 11.3	▲ 13.3	▲ 9.9	15.2	▲ 0.8	(▲16.0)	▲ 4.6	(3.8)	▲ 5.7	(▲4.9)	
生産	生産DI (「増加」-「減少」)	製造業	▲ 11.2	▲ 12.6	▲ 19.8	2.4	▲ 17.6	▲ 22.4	▲ 24.8	▲ 19.1	▲ 9.1	▲ 10.2	▲ 8.8	▲ 2.2	5.4	▲ 3.0	(▲8.4)	1.1	(▲4.1)	▲ 18.2	(▲15.2)	前期比8ポイント低下した。先行きは15ポイント低下する見通し。
受注	受注DI (「増加」-「減少」)	製造業	▲ 10.2	▲ 7.5	▲ 15.2	2.4	▲ 17.6	▲ 20.7	▲ 20.4	▲ 16.9	▲ 14.9	▲ 13.0	▲ 7.7	0.0	6.7	▲ 7.1	(▲13.8)	2.3	(▲9.4)	▲ 20.6	(▲13.5)	前期比14ポイント低下した。先行きは14ポイント低下する見通し。
操業率	操業率DI (「増加」-「減少」)	製造業	▲ 6.0	▲ 7.4	▲ 14.4	▲ 6.9	▲ 16.2	▲ 19.1	▲ 24.4	▲ 17.9	▲ 10.4	▲ 3.8	▲ 13.3	0.0	2.2	▲ 15.0	(▲17.2)	1.1	(▲16.1)	▲ 18.2	(▲3.2)	前期比17ポイント低下した。先行きは3ポイント低下する見通し。
在庫	製品在庫DI (「過剰」-「不足」)	製造業	11.4	20.5	18.9	16.7	12.1	11.5	6.4	14.6	10.4	14.1	6.6	12.7	8.9	0.0	(▲8.9)	4.6	(▲4.6)	▲ 9.3	(▲9.3)	前期比9ポイント低下した。先行きは9ポイント低下する見通し。
販売価格	販売価格DI (「上昇」-「低下」)	全産業	40.8	40.0	33.1	34.5	32.3	31.1	32.7	29.7	36.1	33.9	36.5	27.8	33.5	43.2	(9.7)	39.1	(4.1)	43.8	(0.6)	製造業は前期比10ポイント上昇し、非製造業は同10ポイント上昇した。先行きは、製造業で横ばい(-)、非製造業で概ね横ばい(+ )となる見通し。
		製造業	44.9	39.8	28.3	35.3	35.7	29.0	34.7	24.1	32.2	35.1	38.9	28.4	31.9	41.9	(10.0)	37.8	(4.1)	41.7	(▲0.2)	
		非製造業	37.5	40.2	37.0	33.9	29.9	32.8	31.0	33.9	39.1	33.0	34.7	27.5	34.8	44.4	(9.6)	40.2	(4.2)	45.5	(1.1)	
仕入価格	仕入価格DI (「上昇」-「低下」)	全産業	73.6	60.9	56.8	56.4	54.9	59.8	57.0	55.9	62.8	55.5	56.6	56.2	58.3	73.8	(15.5)	64.8	(9.0)	67.4	(▲6.4)	製造業は前期比15ポイント上昇し、非製造業は同16ポイント上昇した。先行きは、製造業で6ポイント低下、非製造業で7ポイント低下する見通し。
		製造業	77.3	63.8	46.8	57.6	60.7	60.9	54.8	55.4	63.2	63.2	63.3	55.2	64.8	79.6	(14.8)	67.8	(11.8)	73.2	(▲6.4)	
		非製造業	70.8	58.5	64.5	55.3	50.9	58.9	58.8	56.2	62.5	50.5	51.6	57.0	53.1	69.4	(16.3)	62.5	(6.9)	62.9	(▲6.5)	
経常利益	経常利益DI (「増加」-「減少」)	全産業	▲ 19.0	▲ 13.5	▲ 17.0	▲ 7.6	▲ 16.5	▲ 20.8	▲ 15.9	▲ 18.2	▲ 22.2	▲ 21.2	▲ 14.1	▲ 11.8	1.9	▲ 9.8	(▲11.7)	▲ 11.2	(1.4)	▲ 19.9	(▲10.1)	製造業は前期比9ポイント低下し、非製造業は同14ポイント低下した。先行きは、製造業で18ポイント低下、非製造業で4ポイント低下する見通し。
		製造業	▲ 28.6	▲ 19.3	▲ 19.6	▲ 2.3	▲ 23.6	▲ 24.2	▲ 22.6	▲ 14.5	▲ 19.5	▲ 23.4	▲ 5.7	▲ 14.8	3.3	▲ 5.2	(▲8.5)	▲ 6.7	(1.5)	▲ 23.4	(▲18.2)	
		非製造業	▲ 11.4	▲ 9.0	▲ 15.0	▲ 11.4	▲ 11.6	▲ 18.3	▲ 10.5	▲ 20.8	▲ 24.2	▲ 19.9	▲ 20.3	▲ 9.4	0.8	▲ 13.4	(▲14.2)	▲ 14.6	(1.2)	▲ 17.3	(▲3.9)	
雇用	雇用判断DI (「増加」-「減少」)	全産業	▲ 1.3	2.3	▲ 4.6	▲ 2.0	0.0	▲ 2.5	▲ 11.5	▲ 13.2	▲ 13.8	▲ 3.0	▲ 8.3	▲ 7.3	▲ 4.3	▲ 2.7	(1.6)	▲ 2.5	(▲0.2)	▲ 1.8	(0.9)	製造業は前期から横ばい(-)、非製造業は同3ポイント上昇した。先行きは、製造業で5ポイント上昇、非製造業で概ね横ばい(-)となる見通し。
		製造業	▲ 4.1	1.1	1.1	▲ 7.0	2.4	0.0	▲ 13.8	▲ 15.5	▲ 14.7	▲ 2.5	▲ 7.6	▲ 7.8	▲ 5.5	▲ 6.0	(▲0.5)	1.1	(▲7.1)	▲ 1.0	(5.0)	
		非製造業	0.8	3.4	▲ 9.1	1.8	▲ 1.7	▲ 4.5	▲ 9.6	▲ 11.5	▲ 13.1	▲ 3.4	▲ 8.8	▲ 6.9	▲ 3.4	0.0	(3.4)	▲ 5.3	(5.3)	▲ 2.4	(▲2.4)	
資金繰り	資金繰り判断DI (「楽になった」-「苦しくなった」)	全産業	▲ 7.7	▲ 4.2	▲ 8.5	▲ 4.1	▲ 5.3	▲ 10.4	▲ 10.9	▲ 7.6	▲ 7.5	▲ 7.7	▲ 7.4	▲ 9.3	▲ 2.8	▲ 7.6	(▲4.8)	▲ 4.9	(▲2.7)	▲ 7.7	(▲0.1)	製造業は前期比12ポイント低下し、非製造業は横ばい(+ )だった。先行きは、製造業で概ね横ばい(+ )、非製造業で概ね横ばい(-)となる見通し。
		製造業	▲ 11.3	▲ 6.5	▲ 6.5	▲ 3.5	▲ 5.9	▲ 11.5	▲ 11.9	▲ 6.0	▲ 8.1	▲ 9.1	▲ 7.8	▲ 14.8	1.1	▲ 10.5	(▲11.6)	▲ 1.2	(▲9.3)	▲ 8.6	(1.9)	
		非製造業	▲ 4.8	▲ 2.5	▲ 9.9	▲ 4.5	▲ 4.9	▲ 9.6	▲ 10.3	▲ 8.7	▲ 6.9	▲ 6.6	▲ 7.3	▲ 5.1	▲ 5.9	▲ 5.5	(0.4)	▲ 7.9	(2.4)	▲ 7.1	(▲1.6)	
設備投資	設備投資 実施割合	全産業・実績 (6か月前計画)	53.0		60.0		52.9		56.5		51.7		58.5		54.8		(▲3.7)		(▲0.3)	54.8	(0.0)	当初計画(6か月前計画)と比べると、製造業は4ポイント上昇し、非製造業は4ポイント低下した。前期実績(6か月前実績)と比べると、製造業は横ばい(-)、非製造業は6ポイント低下した。先行きは、製造業で概ね横ばい(+ )、非製造業で横ばい(-)となる見通し。
		製造業・実績 (6か月前計画)	51.6		59.3		56.2		57.1		58.2		57.3		57.0		(▲0.3)		(4.2)	58.0	(1.0)	
		非製造業・実績 (6か月前計画)	54.1		60.5		50.4		56.0		47.5		59.3		53.1		(▲6.2)		(▲3.7)	52.3	(▲0.8)	

<調査期日> 2026年6月時点(回答受付:6月1日~18日)

<調査対象> 471社

<有効回答> 229社(製造業100社、非製造業129社)

※DIは前年同期比、ただし販売価格・仕入価格・資金繰りは前期比

※設備投資の実績は2026年1~6月期、先行きは2026年7~12月期

※表中のDI値・実績値の赤字は前期比マイナスを示す

※概況では、今期の前期比・次期の今期比等について、ポイント差が1.0未満のものを「横ばい」、1.0以上3.0未満のものを「概ね横ばい」と記載している

(参考として、ポイント差がプラスの場合は(+)、マイナスの場合は(-)、0.0の場合は(=)を、「横ばい」・「概ね横ばい」の右側に記載)